

校友会員インタビュー

岐阜県ぎふ清流国体推進局長

武藤

鉄弘氏

(経営学部経済学科5期生)

「広く地域で活躍する校友を
紹介します」



毎年開催される、都道府県対抗戦で行う国内最大のスポーツ大会、岐阜県では昭和40年に続き、2回目、47年ぶりの開催となる第67回国民体育大会「ぎふ清流国体」。

障がいのある選手が参加する日本一「一番大きなスポーツの大会、岐阜県では初めての開催となる第12回全国障害者スポーツ大会「ぎふ清流大会」。

Q1. 第67回国民体育大会「ぎふ清流国体・清流大会」の幕が上がります。冬季大会も県勢が好スタートで発達しました。岐阜県として、47年ぶり2回目の大会となりますが、今回の大会の特徴・意義についてお聞かせください。

A1. 前回の国体開催時は、施設や道路などのインフラ整備が大々的に行われました。目に見えて国体が近づいていることが分かっていただけました。しかし、今回の場合は既にインフラ等は整備されておりますので、県民の皆さんには国体が近づいている実感はなかなか湧きにくいのではないかと思います。

今回の国体(大会)は「輝けはばたけだれもが主役」をスローガンに掲げていますが、選手はもちろん、県民の皆さんも国体(大会)に何らかの形で携わっていただき、輝いてもらいたい。それは観客として、ボランティアとしてなど形は様々と思いますが、そのような願いが込められているのです。そのため今回の国体(大会)は、こちらからお願いをし、物事に取り組んでいただいたり、強制していることはほとんどありません。皆さんから自発的・意欲的に提案していただいたことを実現していくという方式をとっています。例えば、手書きの「応援のぼり旗」ですが、これは26校の高校書道部からの提案があつて実現した企画です。字が生きているように見えませんか? やらされたものは人に感動を与えないです。本人にとっても何の意味もありません。自分にできることを考え、提案して下さるごが増えていることは私たちにとっても大変嬉しいことです。

国体(大会)を通じて、他県の皆さんを含めた人々の絆や交流の再構築、またスポーツの祭典です。スポーツ振興や健康増進、中には質素で簡素という批判もありますが、最終的には岐阜県を元気に、活性化につなげていくためにはどうしたらいいのか、これが常に取り組むべき課題であるのと同じ特徴・意義ではないでしょうか。

Q2. ぎふ清流国体推進局のお仕事について、紹介を

ねてお聞かせください。また、トップとしての苦勞も多いかと思いますが、同時にやりがいも特別と拝察いたします。

A2. ぎふ清流国体推進局の仕事は、大きく分けて3つあります。

第一に国体はスポーツの祭典ですから、選手が自分の能力や練習の成果を最大限に発揮でき、安全で安心して競技等に取り組める会場・環境を提供することです。第二に「おもてなし」の心です。国体(大会)へ参加者の動員をかけるのではなく、地域の活性化等も含めて参加したくなるような仕掛けをつくること、おもてなしできるような機運の醸成を図っていきいたいと考えています。

第三に国体(大会)の成果を将来の岐阜県にどう活かしていくかということです。イベントの大半は過性で終わってしまうことが多いのですが、これは大きな課題であり、国体(大会)での成功体験や失敗体験を通じて得たものを将来の岐阜県づくりや地域の活性化へどうつなげていくか、ということについて、各関係機関との協議や連携が非常に重要であると考えています。

また、先程も少し触れましたが、私はイベントに「動員をかけない」ことをモットーにしています。動員をかけることは成功したように見えますが、それでおしまい、何も残らないですね。人が来ないということは企画が良くないのでしょうか。イベントには自分も含めて誰もが来なくなるような仕掛けをつくるのが重要で、皆さんの仕掛けづくりをお願いします。お金をかけることが全てではありません。関係機関等との連携・協力の中で新たな企画を立案したり、コーディネート(調整)することも重要な役割の一つです。

国体(大会)が終わった時、参加者に「携わって良かった」と思ってもらえたら、それが私自身のやりがいになります。その時に初めて達成感を感じるのだと思います。

Q3. 岐阜経済大学では、選手派遣には限界がありますが、競技運営、大会ボランティア等で、大いに貢献できるような準備を進めておられます。学生が参加する意義、岐阜経済大学に期待されることについてお聞かせください。

A3. 国体(大会)には、ボランティアの皆さんの力が必要不可欠です。縁の下での力持ちということですね。昨年3月11日の震災を見ても、大學生を含め大勢の方がボランティアにかけつけてくれました。社会活動をしたという気持ちを持った方が増えているように感じます。私自身もボランティアを20年以上続けていますが、ボランティアは強制するものではありません。自発的に行くものであり、そうでなければ長続きしません。

そういう気持ちを持たれている皆さんには、是非、国体(大会)をそのきっかけとしていただきたいと思います。ボランティア・社会活動の場をつくり、提供することが我々の課題であると考えています。

ボランティアは、自分自身にとつて、また、将来の地域づくり・活性化等へつながる非常に有意義な経験であると思います。

Q4. 岐阜経済大学在学中に学んだことで今の仕事に活かしていること、また、後輩である在学生のアドバイスをお願いします。

A4. 仕事で福利厚生を担当することになった際、お金の管理や運用を任せられたことがありました。私は経済学科に在籍していましたので、その時に学んだ「経済用語」は非常に役に立ちました。大学生活の4年間は、勉強の内容や方法も含めて中高とは全く異なる経験ができると思います。そういう新しい環境の中で勉強や課外活動、下宿などの経験をしておくということは非常に大きなことです。

2012年からは新しく公共政策学科が開設されることですので、卒業後は是非、公務員を目指していただきたい。公務員の場合は、やはり法律が重要になってくるのですが、法律そのものではなく、それをどう読むのかという文書の読み方を勉強してもらえると良いですね。

Q5. 座右の銘をお聞かせください。

A5. 自分自身が考えたのですが、20代の頃から「人生はプラスマイナスゼロ」です。自分がプラスであれば、誰かがマイナスになる。自分がマイナスであれば、誰かがプラスになるといことです。できれば、最後はマイナスの人生を送りたいと思っています。

Q6. 最後に秋の大会に向けた意気込み、校友へのメッセージをお聞かせください。

A6. 岐阜県で国体(大会)を開催して良かったと思ってもらえるよう、皆さんからいただいた提案の具体化を図っていきます。校友や後輩の皆さんも国体(大会)へ参加することでその経験を自身の糧としていただき、将来の自分自身のため、また、社会活動の一助を担うことは、地域のため、日本のためになると思っています。



キャリアアップを目指して母校で再び学びませんか?

キャリア支援課では、在学生の資格取得に向けて、各種資格講座を開講しています。また、本学卒業生の方々、社会人の方々が仕事の必要性から、或いはキャリアアップを目指すためのお手伝いとして次の講座を開講しています。なお、本学卒業生の方は一般の方より安価にて受講できます。

来年度開講講座

- 日商簿記検定2級・3級講座(夜間講座あり)
- 日商販売士検定2級・3級講座(土曜日開講)
- ビジネス能力検定2級(土曜日開講)・3級講座(土曜日開講)
- ファインナショナルプランナー2級(土曜日開講)・3級講座(土曜日開講)
- 保育士試験対策講座(土曜日開講)
- IT/スポーツ試験対策講座(土曜日開講)
- CAD(AutoCAD LT)講座
- 公務員試験対策講座 教養科目・専門科目
- 宅地建物取引主任者試験対策講座(開講日未定)

※開講日程等は4月初旬にHPにて公開いたします。

お問合せ先 カリヤ支援課 0584-77-3500
(E-Mail) job@gifu-keizai.ac.jp

科目等履修生制度 聴講生制度

本学学部で開設している講義科目の一部を、学部生とともに受講します。学部生の学修に支障のない範囲において履修できます(原則として基礎演習・演習・実習科目・語学・体育実技などの一部科目を除く)

	科目等履修生	聴講生
出 席 期 間 (後 期 分)	2012年6月20日(月)～9月6日(木)	
許 可 発 表 日	2012年9月21日(金)	
科 目 等 履 修 生 審 査 料	10,000円	なし
科 目 等 履 修 料	1単位につき 11,000円 22,000円(2単位) 44,000円(4単位)	1科目につき 5,500円(2単位) 11,000円(4単位)
単 位 認 定	あり	なし

※表中は後期分の出席期間です。前期も科目等履修生および聴講生制度はありますので、詳細は岐阜経済大学教務課(0584-77-3516)までお問い合わせください。(今年度の前期募集は終了しています。)

2010年度岐阜経済大学校友会決算書

2010年4月1日から2011年3月31日まで (単位:円)

収 入 の 部		予算額	決算額	差 異
会費収入	6,420,000	6,380,000	40,000	
利息収入	30,000	19,649	10,351	
助成金収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
前年度繰越金	9,302,333	9,302,333	0	
収入の部合計	15,752,333	15,701,982	50,351	
支 出 の 部				
科 目		予算額	決算額	差 異
校友会総会費	0	0	0	
校友会報発行費	2,926,978	2,926,978	0	
卒業祝賀会費	2,500,000	2,323,010	176,990	
支部育成助成費	2,400,000	147,440	2,252,560	
役員会費	800,000	755,284	44,716	
入学記念品費	400,000	241,815	158,185	
母校後援事業費	1,000,000	177,682	822,318	
特別事業積立金	0	0	0	
インターネット事業費	500,000	450,525	49,475	
予備費	(426,978)	0	5,225,355	
次年度繰越金	-	8,679,248	△8,679,248	
支出の部合計	15,752,333	15,701,982	50,351	

(注記) 予備費使用の内訳 校友会報発行費 426,978円

2011年度岐阜経済大学校友会予算書

(単位:円)

会費収入	5,080,000	6,420,000	△1,340,000
利息収入	30,000	30,000	0
助成金収入	0	0	0
雑収入	0	0	0
特別事業積立金繰出収入	10,000,000	0	10,000,000
前年度繰越金	8,679,248	9,302,333	△623,085
収入の部合計	23,789,248	15,752,333	8,036,915
支出の部			
科 目	予算額	前年度予算額	差 異
校友会総会費	1,900,000	0	1,900,000
校友会報発行費	2,500,000	2,500,000	0
卒業祝賀会費	2,500,000	2,500,000	0
支部育成助成費	2,400,000	2,400,000	0
役員会費	900,000	800,000	100,000
卒業記念品費	550,000	400,000	150,000
母校後援事業費	1,000,000	1,000,000	0
特別事業積立金	0	0	0
インターネット事業費	200,000	500,000	△300,000
40周年記念事業費	5,540,000	0	5,540,000
予備費	6,299,248	5,652,333	646,915
支出の部合計	23,789,248	15,752,333	8,036,915

【経営学部】

- 情報メディア学科
- スポーツ経営学科

【経済学部】

- 経済学科
- 公共政策学科

詳細の案内、出願書類の請求等は入試広報課までご連絡ください。
(直通電話) 0584-77-3510

※2013年度版(2013年4月入学者用)の大学案内、募集要項、願書等の資料は、2012年5月下旬に出来上がりです。入試広報課までお問い合わせください。

※2013年度版(2013年4月入学者用)の大学案内、募集要項、願書等の資料は、2012年5月下旬に出来上がりです。入試広報課までお問い合わせください。

入試広報課までお問い合わせください。

公共政策学科を開設

経済学部長 高橋 勉

経済学部では、2012年度より、臨床福祉コミュニティ学科を改組し、公共政策学科を開設します。この学科では、従来の学科における教育目標を継承しつつも、それを発展させ、協働と共生の地域づくりを担う人材の育成を基本的な教育目標としています。この「協働と共生の地域づくり」を担う人材とは、地域で生活する人、行政、企業など、様々な立場から互いに協力して、より良い「まちづくり・社会づくり」に取り組むという基本的な考え方のもとで、地域社会の課題を発見し、解決策を提案し、その実行において中心的な役割を果たすことのできる能力を身につけた人材のことです。このような人材の育成は、まさに、「地域に有為な人材を輩出する」という本学の社会的使命教育目的を体現するものと言えます。

さて、この学科では、政治学、行政学、経済学、社会学など、多様なアプローチを総合した学習を進めていくことになりますが、公共マネジメントコースと社会福祉コースという2つのコースが設置されています。

まず、公共マネジメントコースでは、安全安心と助け合いのまちづくりにリーダーとなつて活躍する人材を育成します。このコースの履修モデルである「公務員養成プログラム」では、より良い「まちづくり・社会づくり」を行うための仕組みを学びつつ、公務員試験合格に必要な知識を身につけることを目標に学習を進めていきます。県庁職員、市町村職員、警察官、消防官など、公務員を目指す人を積極的にバックアップします。岐阜県副知事、大垣市長、高山市長による講義も予定されています。

また、社会福祉コースでは、地域福祉の担い手になって、人々の生活と成長を支える人材を育成します。このコースの履修モデルである「社会福祉士養成プログラム」では、一人ひとりの地域での暮らしを支えるための仕組みを理解し、福祉の専門知識や技術を身につけることを目標に学習を進めていきます。社会福祉士国家試験受験資格を取得し、さらに、合格を目指す人をサポートします。

本学で昨年開設されたボランティアライニングセンターと共に、層の盛り上がりが見込まれています。

2011 年 主な課外活動成績

ボート部

■全日本選手権大会 女子舵手なしペア 4位

硬式野球部

■岐阜県大学野球春季リーグ戦 5位

盗塁王 吉田 勁太
ベストナイン 捕手 田原 靖彪
ベストナイン 一塁手 辻 尚宏
ベストナイン 外野手 松本 拓真
■岐阜県大学野球秋季リーグ 3位
盗塁王 吉田 勁太
ベストナイン 投手 比嘉 智哉
ベストナイン 二塁手 高野 友裕

陸上競技部

■全日本インカレ入賞 男子 800m 7位
■日本学生個人選手権入賞 男子 800m 4位
■日本ジュニア入賞 男子 800m 6位
■西日本インカレ 男子 4x400mR 6位
■西日本インカレ 女子 走幅跳 6位
■東海インカレ 男子 総合2位
■東海インカレ 女子 総合5位

サッカー部

■三岐リーグ 優勝
■東海サッカーリーグ 5位
■東海2部サッカーリーグ 優勝
■東海1部サッカーリーグ 7位
■天皇杯 岐阜県大会 準優勝

男子バレーボール部

■東海リーグ 春季大会(1部) 6位
■東海リーグ 秋季大会(1部) 6位
■岐阜県リーグ 春季大会(1部) 3位
■岐阜県リーグ 秋季大会(1部) 3位
■愛知オープン 準優勝

女子バレーボール部

■東海大学リーグ戦 春季大会(3部) 優勝(2部昇格)
■東海大学リーグ戦 秋季大会(2部) 優勝
■岐阜県大学リーグ戦 春季大会(1部) 優勝

女子ソフトボール部

■東海大学春季リーグ2部 3位
■東海大学秋季リーグ2部 2位(入替戦進出)
■岐阜県A級リーグ春季 4位
■岐阜県A級リーグ秋季 3位
首位打者賞 川瀬 綾子
最優秀新人賞 小崎 愛美
ベストナイン 捕手 川瀬 綾子
ベストナイン 外野手 高田 阿利紗

女子バスケットボール部

■岐阜県学生バスケットボール 春季リーグ戦 1部リーグ 4位
■岐阜県学生バスケットボール 秋季リーグ戦 1部リーグ 3位

スキー部

■第57回中部日本学生スキー選手権大会 女子 総合3位
■第57回中部日本学生スキー選手権大会 女子 スーパー大回転 3位 横井 聖
■岐阜清流国体冬季大会出場 愛知県代表 横井 聖
■岐阜清流国体冬季大会出場 三重県代表 大川 翔子

ソフトテニス部

■東海大会団体戦 東海リーグ 5勝1敗 リーク2位

男子バスケットボール部

■岐阜県学生バスケットボール 春季リーグ戦 1部リーグ 3位
■岐阜県学生バスケットボール 秋季リーグ戦 1部リーグ 4位

バドミントン部

■第114回東海大学 第33回東海学生新人バドミントン選手権大会 男子団体2部 準優勝 男子ダブルス 中島&吉浦 優勝

校友会創設40周年記念事業
校友バンド大会開催される

2011年11月20日(日)に校友会創設40周年記念事業の一環として校友会主催の卒業生による記念バンド大会が行われました。当日は「岐経祭2011」開催日でもあり、そのステージ上にて卒業生が演奏と歌声を披露しました。

オープニングでは東日本大震災被災地の鎮魂と復興の願いを込めて本学吹奏楽部による「上を向いて歩こう」の演奏にあわせ会場全体で合唱をしました。その後、卒業生3組が日頃鍛えたテクニックと歌声を披露すると校友会総会参加校友が多数詰めかけた会場は大いに盛り上がりました。

バンド大会終了後は卒業生バンドで広く関西で活躍する「ウインズ」のステージがあり、当時の思い出などが語られるなど終始和やかな雰囲気につつまれました。その後、学生の企画による後夜祭が行われ、記念式典・講演会など大いに盛り上がった一日となりました。

学内ゼミナール大会開催

12月21日(水)、第39回岐阜経済大学ゼミナール大会を開催しました。今年度は、27ゼミ35チームにより、様々なテーマで学生が1年間を通して行ってきた調査・研究の発表が行われました。

学生の発表後は、指導教員以外の2名の教員による審査があり、5会場それぞれで優秀賞・奨励賞・敢闘賞の各賞が贈られました。

発表した内容は最終的に「学生論叢」として1冊にまとめられ、学びの集大成として結実します。

優秀賞

石坂 信一 東京ドームをいばいに「私たちの提案」
岸 せ みの アスリーの音楽聴取の実態とその目的について
安田(昌)ゼミB 学内モーターを使った新しい広域活動
岐阜経済大学が目指す教師像に関する考察
卒業生へのアンケート調査の分析を通して
大垣を観光地としてにぎわせる

奨励賞

小倉ゼミA ストアパンとネットバンク「利用するからどう?」
小倉ゼミB 原子力発電の脱却 電力会社経営との繋がりを
池 永 ゼミ TPPを考へる「日本の明日は」
高橋(正)ゼミB 新しい事業へのプロセス 猪俣からフレキシブルまで
大野 ゼミ マイナスポイントをメジャー化するには?

敢闘賞

梅木ゼミA 若者の農業
井戸ゼミ 学内「ミニ」ケーシングWardの開発
佐藤(俊)ゼミ 岐阜県内における震災後の影響と今後の対策
高橋(信)ゼミ 福島原発事故の原因「観光地としてのにぎわい創出」
黒川 ゼミ フラット橋梁「その光と陰」
小倉ゼミC 日中自動車会社のV字回復「日産とシエラの比較」
安田(昌)ゼミA 大学外部に向けた学内「インター」を使った「データ広報」

職員人事

採用

2011年4月1日付

今井 良幸

勝田 美穂

菊本 舞

塚谷 文武

石坂 信一

伊藤 嘉人

田中 俊彦

伊藤 範子

富永 和哉

松原 千里

川崎 千明

出回者

棚橋 智彦

昇格

佐藤 八千子

安村 千春

大橋 雄一

尾崎 和美

浦崎 佐知子

配置転換

2011年4月1日付

釣餌 文志

大江 春彦

杉本 孝行

配置転換

2011年10月1日付

安藤 彰記

塚原 康之

国内留学

2011年9月21日付

宇佐見 正史

退職

2011年3月31日付

柿本 国弘

但馬 末雄

名譽教授

2011年12月1日付

佐藤 俊幸

安村 千春

大橋 雄一

尾崎 和美

浦崎 佐知子

配置転換

2011年4月1日付

釣餌 文志

大江 春彦

杉本 孝行

配置転換

2011年10月1日付

安藤 彰記

塚原 康之

国内留学

2011年9月21日付

宇佐見 正史

退職

2011年3月31日付

柿本 国弘

但馬 末雄

名譽教授

2011年12月1日付

佐藤 俊幸

安村 千春

大橋 雄一

尾崎 和美

浦崎 佐知子

配置転換

2011年4月1日付

釣餌 文志

大江 春彦

杉本 孝行

配置転換

2011年10月1日付

安藤 彰記

塚原 康之

国内留学

2011年9月21日付

宇佐見 正史

退職

2011年3月31日付

柿本 国弘

但馬 末雄

名譽教授

2011年12月1日付

佐藤 俊幸

安村 千春

大橋 雄一

尾崎 和美

浦崎 佐知子

配置転換

2011年4月1日付

釣餌 文志

大江 春彦

杉本 孝行

配置転換

2011年10月1日付

安藤 彰記

塚原 康之

国内留学

2011年9月21日付

宇佐見 正史

退職

2011年3月31日付

柿本 国弘

但馬 末雄

名譽教授

2011年12月1日付

佐藤 俊幸